

岩菅山山行報告

【山行日】2020年 6月 27(土)～28(日)

【集 合】岩舟町役場P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 12,800円

【メンバー】CL:鈴木、 SL大西、 齊藤、 島田、 関、 福島、 藤原、 渡辺

【コースタイム】27日:岩舟町役場 P4:00＝

聖平登山口 P7:10/7:30～アライタ沢 8:10～

ノッキリ 9:20～岩菅山 10:00/10:10～

裏岩菅山 11:00/11:10～岩菅山 12:10/12:50～

ノッキリ 13:10～アライタ沢 14:30～

聖平登山口 P15:10/15:20＝硯川ホテル 15:50



27日 晴れ時々曇り 聖平登山口から岩菅山&裏岩菅山をピストンで登り硯川ホテルへ

格安で泊れる草津の「ヴィラV」を利用して、岩菅山と志賀山に登る計画を立てたが、コロナの影響でヴィラVが営業中止となり、急遽宿を志賀高原熊の湯温泉の「硯川ホテル」に変更した。



関越道渋川伊香保 IC で降り、国道353号線から万座ハイウェイを通り奥志賀聖平登山口Pに着く。登山口駐車場は10台程度止められるスペースがあり、登山口脇の駐車スペースに車を止める。出発の準備を整え、ストレッチを行ってから出発する。登山口標識に従って階段状の道を登り、自然林の中をほんの少し登ると上条用水路沿いの道に出て左に進む。用水路沿いに平坦な道をしばらく進み、沢沿いを歩くようになると間もなくアライタ沢を木の橋で渡る。コメツガやシラビソの樹林帯の中の木

段を登るようになり、景色も見えない急坂を黙々と登って行く。途中からブナやミズナラの広葉樹林に変わり、明るい登山道を登ると東館山からの道と合さるノッキリに出る。小休止し、これから登る岩菅山を見ながらメロンや菓子をいただきエネルギーを補給する。ここから山頂への道は少々きつい木段の急登が続くが、登るにつれ展望が広がり風も気持ちが良い。天気予報では曇り後雨の予報で、昼過ぎから雨の予報だが青空が見えてきた。展望も良く、志賀高原の山々や白砂山、苗場山が見渡せる。ここら辺から花も多く見られ、イワカガミやミツバオウレン、ハクサンチドリ、ツマトリソウ等の花が疲れを癒してくれる。



花に励まされ、展望を楽しみながらガレ場の急登を頑張ると岩菅山山頂に到着する。

広い山頂には岩の上に岩菅神社の祠や一等三角点、秩父宮登山記念碑が置かれ、360度の大パ



ノラマが得られる。山頂で大休止しトマトや菓子をいただきながら、これから登る裏岩菅山への稜線を眺める。左手に避難小屋が建っていて、トイレが利用できる。休憩したら裏岩菅山に向かい、気持ちが良い稜線を歩いて行く。まさに雲上のスカイラインで、展望を楽しみながら爽快に歩ける。花も多くナエバキスミレやハクサンチドリ、ムシトリスミレ等が目を楽しませてくれる。珍しいムシトリスミレの花に出会い、初めて見る花に大感動。花や展望を楽しんでいるうちに裏岩菅山に到着した。志賀高

原最高峰の360度の展望を楽しみながら休憩し、どら焼きやトマトをいただく。烏帽子岳への稜線を眺めながら、「今度はあそこまで行きたいね」と夢を膨らます。

ここからは来た道を岩菅山まで戻り、ランチタイムとする予定だが登り返しがきつかった。山頂手前のピークで2人がつる姫になり、ツムラの68番を飲んでゆっくりと登る。無事岩菅山まで戻り、平らな場所に陣取りランチタイム。キノコうどんに天ぷらをトッピングし、煮物やキュウリの漬物等々が並び美味しくいただいた。お腹がいっぱいになったら下山開始。下山は往路を戻り、聖平登山口を目指す。下りは皆さん元気で会話が弾み、アツという間にノッキリまで下る。ノッキリからも快調に下り、花の名前を確認しながら賑やかに下る。アライタ沢を渡り、上条用水路沿いに下り、底清水の先の分岐を右に下ると聖平登山口に着く。靴を履き替えたら宿に向かい、途中の公衆トイレに寄ってから宿に着く。硯川ホテルは古いが温泉が良く、料金がリーズナブルで登山者にはありがたい。部屋に入ったら荷物を整理し、早速温泉に浸かり疲れた体を癒す。温泉から上がった後反省会が始まり、八海山やワインを飲みながら山の話で盛り上がる。6時から夕食となり、レストランへ移動する。夕食のメニューはネマガリタケづくし。ネマガリタケのホイル焼きからネマガリタケの鍋等、ネマガリタケ料理を堪能した。部屋に戻り残りのワイン1本を飲んでから就寝する。



ビールと日本酒2本、ワイン2本を飲みつくし、少々飲みすぎて爆睡した。

28日: 硯川ホテル 9:00 = 鬼押出園 10:30/11:40 = 食事処『峰の茶屋』11:55/12:40 = 卯太郎
14:10/14:30 = 岩舟町役場 P15:30

28日 雨のち曇り 鬼押出園を見学し、「卯太郎」でお土産を買って岩舟支所へ

朝起きて窓の外を見ると、雨が強く降っていた。計画では志賀山と四十八池をハイキングする予定だが、昨夜皆さんと話し雨の場合は横手山の『日本一高所のパン屋さん』へ行くことに変更した。



温泉に入ってから朝食を食べ、出発の準備をする。横手山ヒュッテのパン屋さんに電話すると、コロナの影響で山頂までのリフトは運休で、渋峠からパン屋さんの車で送迎になると言われる。送迎料金は1人600円と言われ、皆さんに相談すると「パン代より高いので却下」と言われホテル前から池巡りに変更する。レインウェアを着てホテルから出発しようとしたが、雨が強くなり危険なので池巡りは中止にした。皆さんに鬼押出し園見学で良いか聞くと、

40年くらい前に見たきりなので行きたいとの返事で鬼押出し園に向かう。ホテルを出発するとあち

こちの道路脇にネマガリタケ採りの車が止められ、カップに長靴の完全防備で山に分け入って行く。雨は降っても視界は良好で、志賀高原から草津の山々がはっきりと見えている。渋峠で「視界が良いので草津白根山を見ながら下りますか？」と聞くと「景色を見ながら下りたい」と言うので草津志賀高原ルートを通ることにする。



白根火山のダイナミックな景色を楽しみながら下り、草津町を通過して万座鹿沢口駅から鬼押しハイウェイに入る。料金は740円取られるが、鬼押しハイウェイの入場割引券を貰える。広い駐車場はコロナのせい、天気のせい、車の数が

少ない。入場券売り場で全員検温チェックされ、案内マップを貰って園内に入る。皆さん30年ぶりとか40年ぶりとか言っていて、昔の記憶と全然違っているようだ。我輩は40年ぶりだが、NHK ブラタモリの放送を見たので大体は理解していた。いつの間にか雨は止んでいて、薄日が差して浅間山が見えている。案内コースの一番長いコースを歩くことにし、表参道から時計回りに歩いて行く。園の真ん中にある「浅間山観音堂」は立派なお寺で、上野寛永寺の別院となっている。コースはゆるやかにアップダウンがあり、登りで陽が差すと暑くて上衣を脱ぐが曇って風が吹くと寒くて上衣を羽織る。



会話を楽しみながらのんびり歩き、奇岩やお花に癒されながら1時間30分の散策を楽しんだ。

駐車場に戻り、軽井沢方面に向かって食事処を探しながら走る。

去年登った小浅間山登山口にある「峰の茶屋」が目に入り、皆さんがここで良いというのでランチタイム。我々だけの貸切で、カレーや蕎麦など好きなものをいただいた。野菜直売所に寄りたいというので、卵太郎近くの直売所に向かう。ナビ任せで運転し、まずは卵太郎でお買い物。皆さんそれぞれ新鮮な卵やプリン、シュークリームなどをお土産に買いご満悦。卵太郎から野菜直売所に向かったが見つからない。どうやら直売所は卵太郎の先に有ったようで、皆さん勘違いしていた。

野菜は諦めて高崎ICに向かい、関越道から北関東道を通って岩舟支所に無事帰着した。